

- 問1 西アフリカのギニア湾沿いに位置するコートジボワールにおいて、その気候条件を最大限に活かして生産されており、生産量が世界一である農産物を次のの中から選びなさい。 (2024年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|----------|
| 1. 天然ゴム | 2. 綿花 | 3. カカオ豆 | 4. コーヒー豆 |
|---------|-------|---------|----------|
- 問2 サハラ砂漠以南のアフリカ諸国が進められた、米の増産を目的とする「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）」の取り組みとその成果について、正しい説明はどれですか。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 米の生産量は増大したが、主食が小麦やトウモロコシから変化しなかったため、計画は途中で打ち切られた。 | 2. 技術的な指導が困難を極めたため、目標としていた生産量の達成は当初の予定より大幅に遅れた。 | 3. 単位面積あたりの収穫量は向上したが、砂漠化の影響で栽培面積が減少したため、総生産量は伸び悩んだ。 | 4. 栽培面積の拡大や生産性の向上により、当初掲げていた増産目標を予定より前倒しで達成した。 |
|--|---|---|--|
- 問3 アフリカの国々に多く見られる、特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存した経済構造の名称と、その特徴の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. モノカルチャー経済：世界市場での取引価格の変化が、国の経済に直接影響を及ぼしやすい。 | 2. 加工貿易：輸入した原材料に高い付加価値をつけて輸出することで、安定した収入を得ている。 | 3. 混合農業：特定の作物と家畜を組み合わせることで、国際価格の変動リスクを回避している。 | 4. ブランテーション：特定の作物だけを栽培することで、国内の食料自給率を向上させている。 |
|---|--|---|---|
- 問4 アフリカの多くの国で見られる「モノカルチャー経済」の状況を正しく把握するために、統計資料から読み取るべき情報として最も適切なものはどれですか。 (2024年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. その国の総人口の推移と、都市部に居住する人口が全体に占める割合 | 2. その国の輸出総額において、特定の農作物や鉱産資源などの品目が占める割合 | 3. その国の国内における農業産出額の合計と、国内で消費される作物の内訳 | 4. その国が製品を輸入している主な相手国と、相手国ごとの輸入額の推移 |
|------------------------------------|--|--------------------------------------|-------------------------------------|
- 問5 コートジボワールのカカオ豆生産量が世界の約37%、ガーナが約18%を占めるように、特定の農作物や資源の輸出に過度に依存する経済を「モノカルチャー経済」と呼びます。この経済体制において、国家の経済が不安定になりやすい最大の理由として適切な説明はどれですか。 (2022年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 1. 工業製品の輸入を完全に禁止しなければならず、国内の近代化が遅れるため | 2. 国際的な需要や天候による価格の変動が、国家の財政に直接大きな影響を与えるため | 3. 先進国への輸出が制限されており、常に国内で在庫が余ってしまうため | 4. 複数の作物を同時に育てるため、特定の害虫による被害が国全体に広がりやすいため |
|---------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
- 問6 アフリカの国々では、ボツワナのダイヤモンドが輸出額の約88%を占めたり、エチオピアのコーヒー豆が約41%を占めたりするように、少数の特定の農産物や鉱産資源の輸出に依存している状況が見られます。このような経済構造を何と呼びますか。 (2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|--------------|---------|
| 1. 知識集約型産業 | 2. 加工貿易 | 3. モノカルチャー経済 | 4. 自由貿易 |
|------------|---------|--------------|---------|
- 問7 エチオピアには独自のキリスト教文化が根付いており、その歴史を象徴する世界遺産が存在します。巨大な岩壁を掘り下げて造られた、この国特有の宗教建築を何と呼びますか。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|----------|----------|
| 1. パルテノン神殿 | 2. 岩窟教会 | 3. 高床式住居 | 4. ピラミッド |
|------------|---------|----------|----------|
- 問8 アフリカの熱帯地域で見られる、カカオやコーヒーといった特定の輸出用商品作物を大規模に栽培する農園の名称と、その成り立ちについて説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2023年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. オアシス農業と呼ばれ、砂漠などの乾燥した地域において湧き水や地下水路を利用して作物を栽培するために発展した。 | 2. 焼畑農業と呼ばれ、森林や草原を焼いてその灰を肥料とし、主に自給用のいも類などを栽培するために始まった。 | 3. ブランテーションと呼ばれ、植民地時代にヨーロッパ諸国によって輸出用作物を生産するために開発された。 | 4. スクラップアンドビルドと呼ばれ、老朽化した農地を一度更地にしてから最新の設備を導入する近代的な手法で拡大した。 |
|---|--|--|--|
- 問9 ザンビアの主要輸出品目において銅が約九十パーセントを占めており、その国際価格が一九八〇年から二〇〇〇年にかけて激しく上下に変動している状況について、この国の経済的課題を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 特定の資源の国際価格の変動が、国家全体の収入や経済状況を不安定にする原因となっている。 | 2. 農産物の輸出に過度に依存しており、天候不順による凶作が国家財政に直接的な影響を及ぼしている。 | 3. 軽工業品の輸出を主軸としているため、先進国との貿易摩擦が経済成長の障壁となっている。 | 4. 高度な技術を要する工業製品の輸入額が輸出額を上回っているため、慢性的な貿易赤字に陥っている。 |
|--|---|---|---|
- 問10 特定の鉱産資源や農産物の輸出だけに頼って国の経済が成り立っている状態を「モノカルチャー経済」といいます。この経済構造が抱えるリスクについて、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
| 1. 国内の特定産業の技術が向上しすぎるため、他国との貿易摩擦が激化する | 2. 国際価格の変動や気象条件による収穫量の変化が、国家の収入を不安定にする原因となる | 3. 特定の作物や資源を自国で消費しすぎるため、輸出に回す余力がなくなる | 4. 原材料を輸入して製品を輸出する過程で、関税が高くなりすぎて利益が減少する |
|--------------------------------------|---|--------------------------------------|---|
- 問11 アフリカ州の宗教分布と文化的な特色について述べた次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。 (2020年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. サハラ砂漠より北側の地域では、かつての宗主国の影響を強く受け、キリスト教を信仰する人々が人口の大部分を占めている。 | 2. 北アフリカの国々では、ヒンドゥー教が広く浸透しており、生活習慣や社会制度の基盤となっている。 | 3. サハラ砂漠とその北部の地域では、歴史的に西アジアとの関わりが深いため、イスラム教を信仰する人々が非常に多い。 | 4. アフリカ大陸全土において、古くから伝わる伝統的な宗教のみが信仰されており、外来の宗教の影響はほとんど見られない。 |
|--|---|---|---|
- 問12 日本がアフリカ諸国に対して行っている国際協力において、現地の人々が自ら土のうを用いて道路を補修する技術指導や、ネリカ米（アジアイネとアフリカイネを交配させた新種）の普及活動が行われています。このような活動が目指している主な目的の組み合わせとして、最も適切なものを次のの中から選びなさい。 (2015年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 1. 大規模な重化学工業の導入と、化石燃料の安定的な確保 | 2. 高度な情報通信網の独占的な提供と、海外企業の誘致 | 3. 社会資本の整備を通じた雇用の創出と、慢性的な食料不足の解決 | 4. 学校教育の普及による識字率の向上と、野生動物の保護 |
|------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 カカオ豆	コートジボワールは西アフリカのギニア湾に面した熱帯地域に位置しており、高温多湿な気候がチョコレートの原料となるカカオの栽培に適しています。同国は長年にわたり世界最大のカカオ豆生産量を誇っており、国の経済を支える極めて重要な輸出産品となっています。他の選択肢もアフリカで栽培されていますが、生産量世界一という点ではカカオ豆が該当します。
問2	答え 4 栽培面積の拡大や生産性の向上により、当初掲げていた増産目標を予定より前倒しで達成した。	アフリカの食料安全保障を強化するために進められたこの計画は、国際的な支援と現地での栽培面積の拡大が功を奏し、当初設定していた増産目標を予定よりも早い段階で達成することができました。これはサハラ砂漠以南の地域における農業開発の成功例として知られており、単なる収穫率の改善にとどまらず、耕作地の確保が大きな役割を果たした点が特徴です。
問3	答え 1 モノカルチャー経済：世界市場での取引価格の変化が、国の経済に直接影響を及ぼしやすい。	モノカルチャー経済は、かつての植民地支配などの歴史的背景により、特定の一次産品の生産・輸出に頼るようになった仕組みです。国際価格が上昇すれば大きな利益を得られますが、下落した際には代替する輸出産業が乏しいため、経済が停滞しやすくなります。この不安定な状況を解消するために、多くの国で産業の多様化が模索されています。
問4	答え 2 その国の輸出総額において、特定の農作物や鉱産資源などの品目が占める割合	モノカルチャー経済とは、特定の一次産品（コーヒー、カカオ、銅など）の輸出に過度に依存する経済構造を指します。これを判別するには、輸出総額の中でどの品目がどれだけの割合を占めているかを確認する必要があります。輸入相手国や国内の農業産出額だけでは、輸出依存の度合いを測ることはできません。
問5	答え 2 国際的な需要や天候による価格の変動が、国家の財政に直接大きな影響を与えるため	特定の産品に頼りすぎる経済は、国際市場での価格暴落や不作の際、他に代わる収入源がないため国全体の経済が深刻な打撃を受けます。このような不安定な状況を打破するため、現在のアフリカ諸国では産業の多角化や工業化が課題となっています。
問6	答え 3 モノカルチャー経済	特定の農作物や鉱産資源（一次産品）の輸出に依存した経済構造を指します。アフリカの多くの国々では、植民地時代に特定の作物の栽培や資源の採掘が強制された歴史的背景もあり、現在もこの構造が残っている地域が多くあります。
問7	答え 2 岩窟教会	エチオピアは、アフリカの中でも非常に古いキリスト教の歴史を持つ国として知られています。特にラリベラなどに見られる岩窟教会は、建築物を地上に建てるのではなく、一つの巨大な岩を上から下へと彫り進めて造られた非常に珍しい構造を持っており、その歴史的・文化的価値から世界遺産に登録されています。
問8	答え 3 プランテーションと呼ばれ、植民地時代にヨーロッパ諸国によって輸出用作物を生産するために開発された。	熱帯地域で見られる大規模な農園はプランテーションと呼ばれます。これはかつての植民地時代に、宗主国であるヨーロッパ諸国が自国への輸出や国際市場での利益を目的に開発した歴史的背景を持っています。カカオ、コーヒー、天然ゴムなどの特定の作物を大量に生産する体制が、現在のアフリカ諸国の経済構造にも大きな影響を与えています。
問9	答え 1 特定の資源の国際価格の変動が、国家全体の収入や経済状況を不安定にする原因となっている。	ザンビアのようなモノカルチャー経済の国では、輸出額の大部分を占める産品（この場合は銅）の国際価格が世界情勢や需要の変化によって変動すると、国全体の経済がその影響を直接受けてしまいます。価格が高騰すれば潤いますが、下落した際には外貨獲得量が激減し、国家運営が困難になるという不安定さを抱えています。
問10	答え 2 国際価格の変動や気象条件による収穫量の変化が、国家の収入を不安定にする原因となる	モノカルチャー経済は、輸出の大部分を特定の一次産品に頼っているため、その産品の国際市場における価格が暴落したり、天候不順で農作物が不作になったりすると、国全体の経済が大きな打撃を受けてしまいます。この不安定さを解消するために、多くの発展途上国では産業の多角化が課題となっています。
問11	答え 3 サハラ砂漠とその北部の地域では、歴史的に西アジアとの関わりが深いため、イスラム教を信仰する人々が非常に多い。	アフリカ北部はサハラ砂漠を介して、あるいは地中海を通じてアラブ世界（西アジア）との交流が古くから盛んでした。そのため、言語はアラビア語、宗教はイスラム教が広く普及しており、文化的なまとまりを持っています。これに対し、サハラ砂漠より南の地域では、植民地時代の背景からキリスト教が広まった地域や、多種多様な伝統宗教が残る地域があり、大陸内で宗教分布に明確な違いがあることが特徴です。
問12	答え 3 社会資本の整備を通じた雇用の創出と、慢性的な食料不足の解決	日本のアフリカ支援は、単なる物資の供与ではなく、現地の自立を促す内容が特徴です。道路整備などのインフラ（社会資本の整備）を住民自らが行うことで雇用の機会を生み出し、同時に乾燥に強く収穫量の多いネリカ米を普及させることで、現地の深刻な課題である食料不足の解決を目指しています。土のうを使った道路補修は、特別な機械がなくても維持管理ができる持続可能な支援の好例です。